

<b>学校教育目標</b>
学びを楽しみ やさしく かしこく たくましく 共に高め合う児童の育成
<b>研究主題</b>
安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を意識して～

<b>学校経営理念</b>
◆確かな教育実践による信頼される学校の 創造 ～Team Gudo 2021～
◇組織的・協働的に実践する学校 ◇創造的・先進的に躍動する学校

<b>学校経営方針</b>
◆知育・徳育・体育のバランスのとれた教育活動の展開
◇「確かな学力」「豊かな心」「健康でたくましい体」の育成
◇チーム学校の構築(メンター制等を活用した人材育成)
◇不登校対応を含めた厳しい環境や様々な特性をもつ子どもへの支援
◇保幼小中・PTA・地域との連携・協働

中期計画<令和2年度～令和4年度>

	現状<〇強みと●弱み>	目標<3年後の到達目標>	行動指針<3年間の取組方針>	評価	検証・評価<3年間の総括>
知	(1)全国学力・学習状況調査(全国平均比)⇒国語(+5.2)、算数(+2.4) (2)高知県学力状況調査(県平均比)⇒1.09 (3)標準学力調査(全国平均比)⇒1.02 (4)市販単元テスト(平均85点以上)⇒算数以外はクリア (5)学校評価アンケート⇒「授業がよくわかる」94.0% (6)家庭学習カード(2学期)⇒中学年はクリア (7)校内研に係る肯定的評価⇒91.3% ○各種学力調査は、学年による上下はあるものの、ここ数年平均値を超え、ある一定の成果を継続できるようになってきている。 ●ここ数年、日々の実践の指標としている市販単元テストの算数において目標値に届いていない学年が多い。また、家庭学習において特定の児童に課題が見られる。	≪確かな学力≫の形成 (1)全国学力・学習状況調査⇒国語、算数:全国平均+5P以上 (2)高知県学力状況調査⇒県平均比1.10以上 (3)標準学力調査の正答率⇒全国比1.05以上 (4)市販単元テスト(学期・教科毎)⇒学年・学校平均とも85点以上 (5)学校評価アンケート⇒「授業がよくわかる」95%以上 (6)家庭学習カード⇒低(目標30分)95%、中(45分)90%、高(60分)85%が目標クリア (7)校内研修満足度⇒95%以上	(1)「学び」を楽しめるよう、主体的で対話的な授業の実践 (2)「思考力・判断力・表現力」の育成を重視した探究型授業の研究と実践 (3)基礎的・基本的な学力と学習技能・学び方の確実な指導 (4)朝読書、学びタイムの確実な取り組みと工夫 (5)ユニバーサルデザインの視点に基づいただれもができる・わかる授業展開の工夫 (6)家庭学習の手引きの活用等を基にした家庭学習の習慣化 (7)外部講師の招聘や先進校視察の実施		
徳	(1)学校評価アンケート⇒「学校が楽しい」94.8%、「学級が楽しい」97.6% (2)学校生活アンケート(1・2学期平均)⇒「周りの人から嫌なことをされた経験」17.2% (3)学校評価アンケート⇒「5あ(挨拶・安全・後始末・集まり、遊び)ができています」肯定的評価69.0% (4)学年目標冊数[低80冊、中60冊、高40冊]⇒71.3%(2/10時点) ○「嫌な経験」は年々減少してきており、ある一定の安定的な学校運営に繋がっている。 ●「5あ」に係る実践について、教職員のペナル合わせの機会を定期的に設定できていない。	≪豊かな心≫の育成 (1)学校評価アンケート⇒「学校が楽しい」95%以上、「学級が楽しい」95%以上 (2)学校生活アンケート⇒「周りの人から嫌なことをされた経験」20%以下 (3)学校評価アンケート⇒「5あ(挨拶・安全・後始末・集まり、遊び)ができています」肯定的評価80%以上 (4)学年目標冊数(低80冊、中60冊、高40冊)⇒80%以上	(1)道徳授業の充実による道徳的判断力・心情・実践意欲・態度の育成 (2)自分も他者も大切に、いじめや差別を許さない公正公平な集団の育成 (3)生活におけるきまり・ルールの徹底 (4)読書環境の整備を行うと共に、読書指導を通しての読書の習慣化		
体	(1)全国体力・運動能力調査⇒全国平均以上(男子:2種目、女子:5種目) (2)体育・運動アンケート(1・2学期平均)⇒「体育授業が楽しい」94.0%、「運動やスポーツが好き」90.8%、「20分休みは外で遊んでいる」95.2% (3)いきいき生活カード(4回実施平均)⇒起床時刻88.8%、就寝時刻85.8% ○運動能力面での伸びが見られ始めており、学級経営にも好影響を及ぼすような体育授業が実践されるようになってきている。 ●生活習慣については定着していない児童の固定化がある。	≪健康でたくましい体≫の育成 (1)全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果⇒5種目全国平均超 (2)体育・運動アンケート⇒「体育授業が楽しい」95%以上、「運動やスポーツが好き」90%以上、「20分休みは外で遊んでいる」95%以上 (3)いきいき生活カード⇒起床時刻(全学年6:30)90%、就寝時刻(1・2年:9:00、3・4年:9:30、5・6年10:00)80%	(1)体育授業や体育活動(外遊び含)等を通して、バランスのとれた体力・運動能力の向上 (2)できる楽しい授業を構築し、運動好きな児童の育成 (3)望ましい生活習慣の確立、食を通じた教育の充実		
横断	(1)不登校による年間30日以上欠席者⇒5人 (2)いじめの発生件数⇒3件 (3)時間外勤務月60時間以内⇒69.8% (4)安全教育プログラム等を活用した授業実践⇒年間5.2時間 (5)学校評価アンケート(教職員)⇒「保・幼・中との連携を図り、教育効果を上げている」89.7% (6)学校評価アンケート(地域本部)⇒「課題を提示し地域と協力している」82.6% ●児童、保護者との関係がそれほど悪いわけでもなく、どちらかと言えば連携もとれてはいるが、不登校の児童、不登校傾向の児童は増加傾向にある。 ●取組の精選は多少なりとも進んでいるが、時間外勤務の目標には達していない。 ●危機管理マニュアルの見直しや安全教育に係る授業改善は進んでいない。 ●ここ数年の新生の実態からすれば、特に保・幼との連携の取組を充実させる必要がある。	(1)新たな不登校による年間30日以上欠席者⇒0人 (2)適時・的確ないじめの早期発見及び対応 (3)時間外勤務月45時間以内⇒90%以上 (4)実態に応じた実効性の高い学校安全計画及び危機管理マニュアルの策定 (5)安全教育プログラム等を活用した授業実践⇒年間5時間以上 (6)学校評価アンケート(教職員)⇒「保・幼・中との連携を図り、教育効果を上げている」90%以上 (7)学校評価アンケート(「わたり会」具同地区学校支援地域本部)⇒「課題を提示し地域と協力している」90%以上	(1)特別支援教育コーディネーターや不登校担当教員を中心としたSCや関係機関との連携による校内支援委員会の充実 (2)いじめ防止に係る教職員研修及び授業実践の充実 (3)自己の業務に充てることのできる時間を増やすための効率的且つ効果的な行事や会議等の運営及び見直し (4)安全教育に係る計画の進捗管理及び授業実践の充実 (5)小中の教科部会毎の授業交流及び知・徳・体・環境・総合(安全)部会の連携した取組の充実 (6)「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえた情報交換等を通じた保・幼との連携強化 (7)地域人材の発掘も含めた「わたり会」との連携強化		

短期計画【知】

項目	目標達成に向けた取組		中間検証 <4～8月の取組を検証>	評価 <到達目標の達成状況を検証>	
	項目 <振計>【担当】	◆取組の評価指標			
1 年 目 【 令 和 2 年 度 】	(1)全国学力・学習状況調査⇒国語、算数:全国平均+5P以上 (2)高知県学力状況調査⇒県平均比1.10以上 (3)標準学力調査の正答率⇒全国比1.05以上 (4)市販単元テスト(学期・教科毎)⇒学年・学校平均とも85点以上 (5)学校評価アンケート⇒「授業がよくわかる」95%以上 (6)家庭学習カード⇒低(目標30分)95%、中(45分)90%、高(60分)85%が目標クリア (7)校内研修満足度⇒91%以上	①研究企画委員会による企画立案と取組の進捗管理 ②探究的な学習(主体的・対話的で深い学び)が実現する授業づくりの研究と実践 ③基礎基本の徹底 ④ユニバーサルデザインの視点を活かした学習環境・授業づくりの推進 ⑤学校図書館・ICT機器を活用した授業の実践 ⑥家庭学習(自主学習)への意欲付けと習慣化	①研究企画委員会(毎月1回)の実施率⇒100% ②「探究型授業」自主公開授業研究会(総合・体育)、学校安全総合支援事業、小中合同公開授業研究会等による探究型授業を発信できている。 ③朝読書、学びタイムの計画的実施⇒90% ④ユニバーサルデザインの視点を活かした学習環境・授業づくりの推進⇒80% ⑤学校図書館・ICT機器を活用した授業が各学期5回以上実施 ⑥モデルとした家庭学習、自主学習ノートを月に2回以上展示(通信含む)	●朝読書、学びタイム等の基礎基本の徹底については計画通り実施できたが、具同小授業スタンダードの共通理解を含め、探究的な学習についてはまだまだ全教員のものになっていない。 ●UDの視点を活かした学習環境・授業づくりやICT機器を活用した授業実践を行うとする意識は概ね進んでいる。	(2)4年:国1.09、算1.04 5年:国1.06、算1.11、理1.17 (3)国1.03、算1.01 (4)国5/6、算3/6、社3/4、理4/4 国86.9、算84.4、社86.9、理85.5(2学期) (5)「授業がよくわかる」93.2% (6)低91.3%、中83%、高73.9%(2学期) (7)校内研修満足度94.2%
2 年 目 【 令 和 3 年 度 】	(1)全国学力・学習状況調査⇒国語、算数:全国平均+5P以上 (2)高知県学力状況調査⇒県平均比1.10以上 (3)標準学力調査の正答率⇒全国比1.05以上 (4)市販単元テスト(学期・教科毎)⇒学年・学校平均とも85点以上 (5)学校評価アンケート⇒「授業がよくわかる」95%以上 (6)家庭学習カード⇒低(目標30分)95%、中(45分)90%、高(60分)85%が目標クリア (7)校内研修満足度⇒93%以上	①研究企画委員会による企画立案と取組の進捗管理 ②生徒指導の三機能を働かせた授業づくりの研究と実践 ③基礎基本の徹底 ④ユニバーサルデザインの視点を活かした学習環境・授業づくりの推進 ⑤学校図書館・ICT機器を活用した授業の実践 ⑥家庭学習(自主学習)への意欲付けと習慣化	①研究企画委員会(毎月2回)の実施率⇒100% ②学校活性化・安定化実践研究事業に係る授業研究(国語・学級活動・人権教育)、小中合同公開授業研究会の実施 ③朝読書、学びタイム、放課後加力学習の計画的実施⇒90% ④ユニバーサルデザインの視点を活かした学習環境・授業づくりの推進⇒80% ⑤学校図書館・ICT機器を活用した授業の実施⇒80% ⑥モデルとした家庭学習、自主学習ノートを月に2回以上展示(通信含む)	●研究事業に係る授業研究(国語・学活)及び三部会(授業づくり・居場所づくり・絆づくり)の取組は、概ね順調に進んでおり、研究の方向性も明確になってきている。 ●朝読書、学びタイム等の基礎基本の徹底については計画通り実施できており、学年・学級において差はあるものの、タブレットの活用も進んでいる。	(1)国+8.3、算+5.8 (2)4年:国1.03、算1.04 5年:国1.04、算1.07、理1.14 (3)国1.02、算1.02 (4)国4/6、算2/6、社4/4、理3/4 国86.5、算83.2、社88.8、理85.6(2学期) (5)「授業がよくわかる」89.9% (6)低76%、中73%、高75%(2学期) (7)校内研修満足度96.7%
3 年 目 【 令 和 4 年 度 】	(1)全国学力・学習状況調査⇒国語、算数:全国平均+5P以上 (2)高知県学力状況調査⇒県平均比1.10以上 (3)標準学力調査の正答率⇒全国比1.05以上 (4)市販単元テスト(学期・教科毎)⇒学年・学校平均とも85点以上 (5)学校評価アンケート⇒「授業がよくわかる」95%以上 (6)家庭学習カード⇒低(目標30分)95%、中(45分)90%、高(60分)85%が目標クリア (7)校内研修満足度⇒95%以上				

短期計画【徳】	
項目	目標達成に向けた取組
1年目 【令和2年度】	<p>目標&lt;単年度の到達指標&gt;</p> <p>(1)学校評価アンケート⇒「学校が楽しい」95%以上、「学級が楽しい」95%以上</p> <p>(2)学校生活アンケート⇒「周りの人から嫌なことをされた経験」20%以下(1・2学期平均)</p> <p>(3)学校評価アンケート⇒「5あ(挨拶・安全・後始末・集まり・遊び)ができて」肯定的評価70%以上</p> <p>(4)学年目標冊数(低80冊、中60冊、高40冊)⇒80%以上(2/10時点)</p>
2年目 【令和3年度】	<p>(1)学校評価アンケート⇒「学校が楽しい」95%以上、「学級が楽しい」95%以上</p> <p>(2)学校生活アンケート⇒「周りの人から嫌なことをされた経験」20%以下(1・2学期平均)</p> <p>(3)指定研究アンケート⇒「授業中に自分の思いや考えを安心して言える」強肯定的評価50%以上</p> <p>(4)学校評価アンケート⇒「5あ(挨拶・安全・後始末・集まり・遊び)ができて」肯定的評価90%以上</p> <p>(5)学年目標冊数(低80冊、中60冊、高40冊)⇒80%以上(2/10時点)</p>
3年目 【令和4年度】	<p>(1)学校評価アンケート⇒「学校が楽しい」95%以上、「学級が楽しい」95%以上</p> <p>(2)学校生活アンケート⇒「周りの人から嫌なことをされた経験」20%以下(1・2学期平均)</p> <p>(3)指定研究アンケート⇒「授業中に自分の思いや考えを安心して言える」強肯定的評価50%以上</p> <p>(4)学校評価アンケート⇒「5あ(挨拶・安全・後始末・集まり・遊び)ができて」肯定的評価90%以上</p> <p>(5)学年目標冊数(低80冊、中60冊、高40冊)⇒80%以上(2/10時点)</p>

項目	目標達成に向けた取組
<p>&lt;振計&gt;【担当】</p> <p>規範意識や自尊感情など豊かな心を育む取組の充実&lt;I2(4)&gt;</p> <p>【道徳推進教師・人権教育主任・図書担当・徳の部会】</p> <p>生徒指導上の諸課題への組織的な対応・支援の強化&lt;I2(6)&gt;</p> <p>【児童会担当・生徒指導担当】</p>	<p>◇具体的な取組</p> <p>①「考え、議論する」道徳授業の充実(展開の工夫)</p> <p>②心の教育参観日におけるいじめに係る道徳及び人権教育の授業公開</p> <p>③「ほっとロングタイム」「Gとどみつけ」「エンカウンター」の継続的な実施</p> <p>④「5あ」(挨拶・安全・後始末・集まり・遊び)の徹底</p> <p>⑤読書の習慣化</p>
<p>◇具体的な取組</p> <p>①「考え、議論する」道徳授業の充実(展開の工夫)</p> <p>②心の教育参観日におけるいじめに係る道徳及び人権教育の授業公開</p> <p>③特別活動の充実</p> <p>④縦割り班活動、エンカウンター等の継続的な実施</p> <p>⑤「5あ」(挨拶・安全・後始末・集まり・遊び)の徹底</p> <p>⑥読書の習慣化</p>	<p>◆取組の評価指標</p> <p>①学年毎の教員及び授業の流し方の共有⇒90%</p> <p>①小中教科部会における道徳授業の公開及び研究協議ができています。</p> <p>②指導路案を基にした「いじめに係る授業実践」ができています。</p> <p>③「ほっとロングタイム」「Gとどみつけ」の取組及び「エンカウンター」の紹介等を基にした各学級での取組ができています。</p> <p>④「5あ」の実践について学期毎に教職員のべつ合わせの機会を設定しています。</p> <p>⑤読書環境の整備(予約システム、市民図書館の利用等)、読書への興味付け(並行読書、フットワーク等)ができています。</p>

項目	目標達成に向けた取組
<p>中間検証 &lt;4~8月の取組を検証&gt;</p> <p>・「周りの人から嫌なことをされた経験がある」と回答した児童が26.1%と、昨年度に比べて増えており、目標値にも届いていない。いじめに係る授業実践を含め、コロナ感染症に係る人権侵害行為も視野に入れた上で、周りの人達を大切にすることを意識を高める実践を進めていく。</p>	<p>年度末検証 &lt;到達指標の達成状況を検証&gt;</p> <p>(1)学校92.5%、学級91.6%</p> <p>(2)「嫌な経験」30.7%(1・2学期平均)</p> <p>(3)「5あ」89.6%</p> <p>(4)低99%、中78%、高89%(2/10)</p> <p>●「嫌な経験」については目標値に届いていないが、昨年度と比べ改善傾向にある。来年度以降、基礎となる人権教育や「5あ」の生活指導をこれまで以上に大切にしながら、指定研究に係る生徒指導の三機能を生かした授業づくりや児童主体の学校行事等の実践により、目標値をクリアしていくことをめざす。</p>
<p>中間検証 &lt;4~8月の取組を検証&gt;</p> <p>・「嫌なことをされた経験」の値が29.5%となっており、年々高くなってきている。研究事業に係る縦割り班活動等の人間関係づくりや日々の生徒指導をはじめ、人権教育参観日におけるいじめに係る公開授業や日々の道徳授業を通して、自分事として考え行動できる実践を積み重ねていく。</p>	<p>年度末検証 &lt;到達指標の達成状況を検証&gt;</p> <p>(1)学校89.1%、学級91.3%</p> <p>(2)「嫌な経験」28.9%(1・2学期平均)</p> <p>(3)「思いを言える」強肯定36.7%(12月)</p> <p>(4)「5あ」78.2%</p> <p>(5)低99%、中58%、高81%(2/10)</p> <p>●「嫌な経験」については目標値に届いていないが、昨年度と比べ改善傾向にある。来年度以降、基礎となる人権教育や「5あ」の生活指導をこれまで以上に大切にしながら、指定研究に係る生徒指導の三機能を生かした授業づくりや児童主体の学校行事等の実践により、目標値をクリアしていくことをめざす。</p>

短期計画【体】	
項目	目標達成に向けた取組
1年目 【令和2年度】	<p>目標&lt;単年度の到達指標&gt;</p> <p>(1)全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果⇒5種目全国平均超</p> <p>(2)体育・運動アンケート⇒「体育授業が楽しい」95%以上、「運動やスポーツが好き」90%以上、「20分休みは外で遊んでいる」95%以上</p> <p>(3)いきいき生活カード⇒起床時刻(全学年6:30)90%、就寝時刻(1・2年:9:00、3・4年:9:30、5・6年:10:00)80%(年間4回平均)</p>
2年目 【令和3年度】	<p>(1)全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果⇒5種目全国平均超</p> <p>(2)体育・運動アンケート⇒「体育授業が楽しい」95%以上、「運動やスポーツが好き」90%以上、「長休みは外で遊んでいる」95%以上</p> <p>(3)いきいき生活カード⇒起床時刻(全学年6:30)90%、就寝時刻(1・2年:9:00、3・4年:9:30、5・6年:10:00)80%</p>
3年目 【令和4年度】	<p>(1)全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果⇒5種目全国平均超</p> <p>(2)体育・運動アンケート⇒「体育授業が楽しい」95%以上、「運動やスポーツが好き」90%以上、「長休みは外で遊んでいる」95%以上</p> <p>(3)いきいき生活カード⇒起床時刻(全学年6:30)90%、就寝時刻(1・2年:9:00、3・4年:9:30、5・6年:10:00)80%</p>

項目	目標達成に向けた取組
<p>&lt;振計&gt;【担当】</p> <p>健康・体力の向上</p> <p>【体育主任・養護教諭・栄養教諭・児童会担当・体の部会】</p>	<p>◇具体的な取組</p> <p>①保幼小中での統一した「いきいき生活カード」の実施及び保護者への啓発による生活習慣の定着</p> <p>②食育・保健指導・健康教育の工夫・改善</p> <p>③年間計画に基づいた領域に偏りのない体育授業実践</p> <p>④体育科公開授業研究会の実施【再掲】</p> <p>⑤5分間プログラムの活用による運動能力の向上</p> <p>⑥朝マラソン・朝縄跳びの計画的な実施による体力づくりと仲間づくり</p> <p>⑦20分休みの外遊びの習慣化</p>
<p>&lt;振計&gt;【担当】</p> <p>健康・体力の向上</p> <p>【体育主任・養護教諭・栄養教諭・児童会担当・体の部会】</p>	<p>◇具体的な取組</p> <p>①保幼小中での統一した「いきいき生活カード」の実施及び保護者への啓発による生活習慣の定着</p> <p>②食育・保健指導・健康教育の工夫・改善</p> <p>③年間計画に基づいた領域に偏りのない体育授業実践</p> <p>④体育科公開授業研究会の実施</p> <p>⑤5分間プログラムの活用による運動能力の向上</p> <p>⑥朝マラソン・朝縄跳びの計画的な実施による体力づくりと仲間づくり</p> <p>⑦長休みの外遊びの習慣化</p>

項目	目標達成に向けた取組
<p>中間検証 &lt;4~8月の取組を検証&gt;</p> <p>・基本的な生活習慣の定着に向けての取組、体育授業や運動の習慣化に係る取組についてのアンケート結果は概ね目標値に達しており、地道な取組が実を結んできている。2学期は体育授業の充実を更に図っていく。</p>	<p>年度末検証 &lt;到達指標の達成状況を検証&gt;</p> <p>(2)「体育授業が楽しい」96.9%</p> <p>「運動やスポーツが好き」90.1%</p> <p>「20分休みは外で遊ぶ」95.9%</p> <p>(3)起床時刻88.2% 就寝時刻87.2%</p> <p>○体育・運動及び生活習慣に係るアンケートにおいて目標値を超えており、ここ数年の継続した体育授業実践やいきいき生活カードの取組が結果としても表れている。しかし、特に生活習慣については家庭の協力態勢もあり、守ることができていない児童が固定化されている。</p>
<p>中間検証 &lt;4~8月の取組を検証&gt;</p> <p>・昨年度同様、これまでの地道な取組が実を結び、体に係るアンケート項目については、安定して目標値に近い値となっている。2学期には体育の研究授業を実施することとなり、授業についても研究を深めていく。</p>	<p>年度末検証 &lt;到達指標の達成状況を検証&gt;</p> <p>(1)全国平均超(男子:6種目、女子:1種目)</p> <p>(2)「体育授業が楽しい」94.5%</p> <p>「運動やスポーツが好き」89.5%</p> <p>「20分休みは外で遊ぶ」89.7%</p> <p>(3)起床時刻90.5% 就寝時刻86.6%</p> <p>○昨年度に比べ、若干下がっている項目が多いものの、どの項目とも目標値に近い値となっており、今後もこれまで同様体育授業やいきいき生活カードの実践を地道に継続していく。SNSやマイ視聴については、生活習慣や学力に大きく影響を及ぼしていることから、家庭との連携も含めて取組を強化していく必要がある。</p>

短期計画【横断】	
項目	目標達成に向けた取組
1年目 【令和2年度】	<p>目標&lt;単年度の到達指標&gt;</p> <p>(1)新たな不登校による年間30日以上欠席者⇒0人</p> <p>(2)適時・的確ないじめの早期発見及び対応</p> <p>(3)時間外勤務月45時間以内⇒70%以上</p> <p>(4)実態に応じた実効性の高い学校安全計画及び危機管理マニュアルの策定</p> <p>(5)安全教育プログラム等を活用した授業実践⇒年間5時間以上</p> <p>(6)学校評価アンケート(教職員)⇒「保・幼・中との連携を図り、教育効果を上げている」90%以上</p> <p>(7)学校評価アンケート(「わたり会」)⇒「課題を提示し地域と協力している」90%以上</p>
2年目 【令和3年度】	<p>(1)新たな不登校による年間30日以上欠席者⇒0人</p> <p>(2)適時・的確ないじめの早期発見及び対応</p> <p>(3)時間外勤務45時間以内⇒70%以上</p> <p>(4)安全教育プログラム等を活用した授業実践⇒年間5時間以上</p> <p>(5)学校評価アンケート(教職員)⇒「保・幼・中との連携を図り、教育効果を上げている」90%以上</p> <p>(6)学校評価アンケート(「わたり会」)⇒「課題を提示し地域と協力している」90%以上</p>
3年目 【令和4年度】	<p>(1)新たな不登校による年間30日以上欠席者⇒0人</p> <p>(2)適時・的確ないじめの早期発見及び対応</p> <p>(3)時間外勤務45時間以内⇒70%以上</p> <p>(4)安全教育プログラム等を活用した授業実践⇒年間5時間以上</p> <p>(5)学校評価アンケート(教職員)⇒「保・幼・中との連携を図り、教育効果を上げている」90%以上</p> <p>(6)学校評価アンケート(「わたり会」)⇒「課題を提示し地域と協力している」90%以上</p>

項目	目標達成に向けた取組
<p>&lt;振計&gt;【担当】</p> <p>不登校の未然防止と初期対応&lt;横断(1)&gt;</p> <p>障害の状態や教育的ニーズに応じた指導・支援の充実&lt;I2(1)&gt;</p> <p>【教諭・不登校担当・特別支援教育コーディネーター】</p> <p>業務の効率化・削減&lt;横断(2)&gt;</p> <p>【管理職】</p> <p>防災を中心とした安全教育・安全管理の充実&lt;VI2(1)&gt;</p> <p>【教諭・安全教育担当】</p> <p>保幼小の円滑な連携・接続の推進&lt;VI1(2)&gt;</p> <p>【教諭・1年部】</p> <p>地域全体で子どもを見守り育てる取組の推進&lt;IV2(1)&gt;</p> <p>【主幹教諭・児童会】</p>	<p>◇具体的な取組</p> <p>①校内支援委員会における情報共有を基にした効果的な指導・支援の検討</p> <p>②いじめ防止基本方針の確認及び徹底</p> <p>③効果的かつ効果的な会議や行事等の運営・見直し及び時間外勤務に係る啓発</p> <p>④防災・安全に係る計画やマニュアルの見直しを図るための先進校視察及び校内研修の実施</p> <p>⑤安全教育プログラム等を活用した授業実践を充実させるための校内研修の実施</p> <p>⑥保幼小中の5部会(知、徳、体、環境、総合)及び教科部会での効果的な協議と実践</p> <p>⑦保幼小連絡会による情報(児童の実態、10の姿等)の共有化</p> <p>⑧児童の安全確保や健全育成に係る情報共有を基にした取組の継続</p>
<p>&lt;振計&gt;【担当】</p> <p>不登校の未然防止と初期対応&lt;横断(1)&gt;</p> <p>障害の状態や教育的ニーズに応じた指導・支援の充実&lt;I2(1)&gt;</p> <p>【教諭・不登校担当・特別支援教育コーディネーター】</p> <p>業務の効率化・削減&lt;横断(2)&gt;</p> <p>【管理職】</p> <p>防災を中心とした安全教育・安全管理の充実&lt;VI2(1)&gt;</p> <p>【教諭・安全教育担当】</p> <p>保幼小の円滑な連携・接続の推進&lt;VI1(2)&gt;</p> <p>【教諭・1年部】</p> <p>地域全体で子どもを見守り育てる取組の推進&lt;IV2(1)&gt;</p> <p>【主幹教諭・児童会】</p>	<p>◇具体的な取組</p> <p>①校内支援委員会における情報共有を基にした効果的な指導・支援の検討</p> <p>②いじめ防止基本方針の確認及び徹底</p> <p>③効果的かつ効果的な会議や行事等の運営・見直し及び時間外勤務に係る啓発</p> <p>④安全教育参観日の実施</p> <p>⑤保幼小中の4部会(知、徳、体、環境)及び教科部会での効果的な協議と実践</p> <p>⑥保幼小連絡会による情報(児童の実態、10の姿等)の共有化</p> <p>⑦児童の安全確保や健全育成に係る情報共有を基にした取組の継続</p>

項目	目標達成に向けた取組
<p>中間検証 &lt;4~8月の取組を検証&gt;</p> <p>・新型コロナウイルスの影響で、保幼小や地域との連携及び安全教育に係る取組がほぼできていない状態ではあるが、今後の状況を鑑み、できる範囲で実践していく。</p> <p>・校内支援委員会や外部機関を交えたケース会を随時設定し、不登校対応を含めた児童・家庭支援に取り組むことができた。成果はまだまだの部分もあるが、地道に継続して取り組んでいる。</p> <p>・時間外勤務についての啓発にも取り組んでいるが、改善への道程は長い。</p>	<p>年度末検証 &lt;到達指標の達成状況を検証&gt;</p> <p>(1)新たな30日以上不登校5人</p> <p>(2)適時対応をしたが、保護者間のしりこりが残ることがあった。</p> <p>(3)時間外勤務月45時間以内65.1%</p> <p>(4)学校安全計画及び危機管理マニュアルの見直しを行い、他校へ発信した。</p> <p>(5)安全に係る授業実践5回</p> <p>(6)保幼小連携77.5%</p> <p>(7)地域との協働88.2%</p> <p>●目標値を下回った項目が多く課題が残った。不登校対応については、登校が30日に近い児童や登校をしぶりがちな児童がいたが、昨年度30日以上欠席があった児童の居場所として第2保健室を設けたり、保護者との懇談をもったりしながら対応にあたったが、目標値には届かなかった。</p> <p>○安全教育に係る取組については、指定研究もあり充実した取組となったが、外部機関との連携・協働の取組は新型コロナウイルスの影響で計画通り進まなかった。</p>
<p>中間検証 &lt;4~8月の取組を検証&gt;</p> <p>・研究事業に係る外部機関を交えた校内支援委員会や保護者を交えた懇談等において、不登校児童の対応を検討・協議することはできたが、継続的に不登校傾向にある児童の改善には至っていない。</p> <p>・安全教育参観日を開催し、交通、生活、災害に係る安全教育の授業を公開することができた。</p> <p>・時間外勤務の削減については今後も機会あることに啓発していく。</p>	<p>年度末検証 &lt;到達指標の達成状況を検証&gt;</p> <p>(2)概ね適時・的確な対応ができた。</p> <p>(3)時間外勤務月45時間以内61%</p> <p>(4)安全に係る授業実践 5.3時間</p> <p>(5)保幼小連携94.5%</p> <p>(6)地域との協働86.4%</p> <p>●新たな不登校はいないものの、欠席が30日に近い児童や登校をしぶりがちな児童がいたが、昨年度30日以上欠席があった児童のほとんどが今年度も30日以上欠席となっており、今後も重点課題として関係機関や保護者との連携のもと、対応・取組を進めていく。</p> <p>○安全な学校運営に係って、新型コロナウイルス感染症への対応や防止対策については教職員の意思疎通を図りながら適時・的確に取り組むことができた。</p> <p>●時間外勤務削減についての意識化は徐々に進んでいる。</p>